

第5学年2組 学級活動（1）学習指導案

【日時】令和4年7月21日(水) 8:45～9:30 【場所】5年2組教室 【指導者】矢川 亮太

本授業の主張点【深い学びの児童の姿】

議題の設定から振り返りまでの一連の活動を通した学級と自分の成長について考え、これまで身に付けてきた自分の資質・能力や友達、学級の力が有効に働いていることを実感し、これからも成長していきたいという意欲を高めている姿をお見せします。

- 1 議題名 夏の日の2022～夏だ！祭りだ！エンジン全開！～
学級活動（1） ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題の構想

(1) 議題について

人の心を熱くする季節、夏。海水浴や花火大会、自然と触れ合う体験活動など、子供たちの心を刺激し、様々な経験を通して大きく成長できる季節である。それに加え、日本では古くから、地域の伝統や文化に馴染んだ夏祭りが催されており、日本の夏を楽しむ上で欠かせない行事の一つとなっている。夏休みを前にした子供たちは、新しい学年になって4ヶ月間頑張ってきた充実感や夏にしかできない行事への期待感に満ち溢れている。この時期に、学級で「夏祭り」を議題として取り上げることは、これまでの生活や学習で身に付けた力を発揮する場となるとともに、夏にしかできないことをどのようにして楽しむか、子供たちの発想やアイデアを生かした活動の広がりが期待できる。活動が広がるからこそ、試行錯誤が生まれる。どのように課題を解決し、自分や学級が成長したかを考える上で適した議題であると言えよう。

(2) 児童について

本議題に至るまで、「5の2の日にみんなで遊ぼう」「運動会おつかれさま会をしよう」「誕生日の友達をお祝いしよう」等の実践を行い、議題を決め、話し合い、決まったことを実践し、振り返るという一連の学習過程を積み重ねている。また、学級の課題に対して危機感をもち、「授業態度を改善しよう」という議題を立ち上げ、解決策を話し合う姿も見られる。みんなで話し合っただけで決めたことを実践する楽しさや充実感を味わい、学級としての成長を実感するとともに、困ったことを共有し、次の課題を見いだす姿が見られるようになっている。その一方で、実践をみんなで楽しもうとする意欲は高いが、提案理由を意識し、活動の意義を理解して活動するという点においては課題がある。また、実践を通した学級の成長は実感しているものの、その中で、自分自身がどのように成長したかを実感するには至っていない。議題を通して、自分は何を目指して活動していくのかを明確にした上で、学習過程における自身の変容を振り返り、一人一人の成長によって学級の力が高まっていることを実感させたい。

(3) 指導について

学級で夏祭りを楽しむという共通の目的の中で、それぞれが個人としてどのように成長できたかを考えることができるよう、2つの手立てを講じる。1つは、議題全体を通した1枚のポートフォリオを用いることである。議題の決定から話し合い活動、準備から実践に至るまでの学習過程における思いや気付き等をポートフォリオに記入していくようにする。議題の決定では、その議題を行う意義について共通理解を図り、活動を通して、どんな自分になりたいのかを考える時間を設ける。自分のどんなよさを発揮したいのか、どんな新しいことに挑戦したいのかをポートフォリオに記入させる。話し合い活動においては、合意形成によって決まったことに対してどんな思いを抱いたのか、実践に向かう意気込み等を記入させる。実践に向かう準備の過程や実践後も、その都度気付いたことや考えたことを記入できるよう声かけを行う。このようにポートフォリオを活用することで、自分の目指す姿や実践の中での気付きや変容について、俯瞰して見るができるようにする。もう1つは、本時の振り返り活動における、振り返りの視点の提示である。「自分のどんな力を発揮することができたか」「友達や学級の力はどのように自分に影響したか」という2つの視点をもとに振り返りを行うようにする。自分の変容した要因を明らかにすることで、自身の成長をより強く実感することができるであろう。自分のよさや友達、学級の力によって自分が成長し、自分の成長によって学級が成長していることを実感することで、これからの生活や次の実践においても、もっと成長していきたいという思いをもつことができるようにしていく。

3 議題の目標と評価

(1) 議題の目標

自主的、実践的な活動を通して、自分と学級が相乗的に高まっていることを理解し、課題解決のために試行錯誤し、更なる成長に向けて邁進しようとする態度を身に付けることができるようにする。

(2) 評価規準

- ア 一人一人の成長によって学級が成長し、一人一人の成長は学級の成長に支えられていることを理解している。 【知識・技能】
- イ 議題に対する解決方法について、多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、集団活動の中で自分を見つめながら実践している。 【思考・判断・表現】
- ウ 見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の成長を目指して前向きに活動に取り組もうとしている。 【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】

4 議題の計画（全5時間）

- (1) 議題の決定(1時間) (2) 話し合い活動(1時間) (3) 準備～実践(課外+2時間)
- (4) 振り返り活動(1時間)

5 本時の指導（5/5）

(1) 目標

議題について話し合ったことを実践する過程で、どのように成長したのかを振り返り、更なる成長に向けて、学習や生活への意欲を高めることができるようにする。

(2) 評価規準

実践の過程で培われた自分の成長に気付き、これからの生活への意欲を高めることができたか。

【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】

(3) 展開

学習活動と児童の反応（[]）	教師の働きかけと形成的評価（◆）
1 これまでの学習過程を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (5分) ・みんな楽しそうな顔をしているな。 ・やっぱりみんなも、成長を実感していたんだ。	1-(1) 議題の決定から実践までの流れを動画で視聴し、意欲を高めることができるようにする。 1-(2) 実践を終えた後に実施したアンケート結果を提示し、全体の思いを把握した上で、本時のめあてにつなげる。
5の2と自分の成長のひみつを探ろう。	
2 学級の成長と課題について話し合う。 (15分) ・計画的に準備ができたこと ・一人一人の個性が発揮できたこと ・係で協力できたこと ・時間を守って活動できたこと	2-(1) 実行委員が学級の成長について語る場を設け、全体で意見を交流するように促す。 2-(2) 自分たちで価値付けた学級の成長に対し、議題の当初に考えたなりたい自分はどうかを問い、自分の成長へと目を向けさせる。
3 自分の成長について考える。 (15分) 【どんな力を発揮したか】 ・担当の係で、みんなの前で分かりやすく説明するようになった。 ・絵を描くのが得意だから、イラストを生かしたお店を開いてみんなに喜んでもらった。 【友達や学級の力はどのように影響したか】 ・準備が進まなくて大変だったけど、友達が助けてくれたおかげで最後まで頑張ることができた。 ・大変な仕事なのに、前向きに頑張っている姿がすごいと思った。自分もそうになりたい。	3-(1) 「どんな力を発揮したか」「友達や学級はどのように自分に影響したか」という視点を提示することで、自分の成長に気付きやすくする。 ◆ これまでの実践において、自分がどのように成長したかを考えることができているか。(発言・ポートフォリオ) 【思・判・表】 B 自分の変容するきっかけとなる要因について考えている。 C→ ポートフォリオをもとに、どんなことを頑張ったのか、すごいと思った友達の姿はなかったかを尋ねる。
4 学級の成長と自分の成長を確認し、次の実践への意欲を高める。 (10分) ・みんなのおかげで自分は成長できた。 ・自分と学級はお互いに高め合うことができるんだ ・これからもみんなと一緒に成長していきたい。 ・学級のために、夏休みのうちに力を付けるぞ。 ・次の実践では、どんな成長ができるかな。	3-(2) 個人で考えた後、同じ係の友達や学級全体で交流し、一人一人の成長した姿を認め合ったり、その要因を共有したりすることで、個人もそれぞれ成長していることを意識付ける。 4-(1) 学級の成長と一人一人が成長した要因を関連付け、学級の力によって個人が成長し、個人の成長によって学級の力が高まっていることに気付くようにする。 4-(2) 夏休みを通した一人一人の成長が、夏休み明けの学級の姿につながることを伝え、夏休みの生活への意欲と次の実践への期待感を高めるようにする。